

事務局日記NO. 6 11/3
仙台に寒波 Q1. 0住宅 早朝室温20℃ 勿論暖房なし



11月2日～3日は早い寒波襲来に全国各地で驚きのニュース。仙台でも、朝の気温は4℃、銀杏の葉がまだ緑なのに12月中旬の気温とか。

昨日の月曜は日中でも10℃前後。事務所に暖房を入れずにいたら夕刻にはさすがに冷えて体が何となくゾクゾクする感じ。「今日はお終い」といってあがったのが午後七時。車に表示される外気温は6℃になっていた。

さて、我が家に戻るとさすがQ1. 0住宅、ドアを開ければそこはまだ夏の終わり室温は22℃を表示している。天気予報では明朝3～4℃位まで冷えるということなのでこのまま暖房しないでいたらどうなるか、見てみることにした。



翌朝6:30頃、寝室(写真下左)もリビングも20℃を表示。寝る前と比較すると2℃下がっている。外気温はというと、車の表示で4℃(写真中)するとはぼ12時間は5～6℃以下、前日の日中から数えると24時間以上10℃以下に曝されたことになる。さすがQ1. 0住宅、強いですね、耐えています。

最もこの時期、室内にはまだまだ夏の蓄積がありますから、そんなに急に室温が下がるわけはありませんがね。

今年の暖房開始日が12月15日、今年はどうなるか楽しみです。



◇ユーザーとの住宅勉強会会場で、ある会話
講師「今時日中は陽が入ってどこの家でも暖かいですよ」
主婦Aさん「え、私の家なんか暑いくらいですよ」
講師「でも、陽が沈んだらどうですか、寒くならないですか？」
主婦Aさん「もうスーツ急に寒くなるから暖房することもあります」
講師「そこが断熱住宅との違いなんですよ」
「だから暖房しないし、だから省エネなんですよ」

結論は
リフォームでも建て替えても、つくるなら「ちゃんとした高断熱住宅」
「名ばかり高断熱」に注意! です。